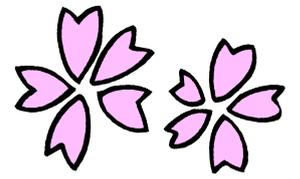


高遠町 地域協議会だより



令和2年2月発行 第47号

地域協議会だより第47号では、ふるさと創生活動支援金事業審査会の内容と、令和元年度第4回の地域協議会についてお知らせします。

令和元年度 第1回

ふるさと創生活動選考委員会

令和元年11月15日(金)
高遠町文化センター

●伊那市高遠町ふるさと創生活動選考について

令和2年度分事業申請のあった団体から事業の説明後、選考・審査が行われ、2事業が採択内定となりました。

○下山田区

事業名 下山田マレットゴルフ場落枝事故防止対策事業」

交付金 224,000円

○三義地域おこしの会

事業名 三義地区の歴史・文化の保存伝承による地域おこし事業」

交付金 961,000円

第4回地域協議会

令和2年1月20日(月)
高遠町文化センター

協議事項

◆高遠町総合支所庁舎建設に係る小委員会の報告について

昨年2月に高遠町総合支所あり方研究委員会から市長へ提出した報告書の意見をさらに精査し絞り込むことを目的に地域協議会の中に設置した、高遠町総合支所庁舎建設に係る小委員会で10月から協議を重ねてきた検討結果が、黒河内副委員長から報告されました。最も大きな関心事である、庁舎の位置については、小委員会でも絞り込むことができず、旧庁舎現在地、文化センター周辺、高遠消防署付近の3箇所が候補に挙がりました。地域協議会委員からは、3箇所だけでなくもつ



と絞り込むこと、または優先順位をつけてはどうか、という意見が出されましたが、協議会委員の立場や、所属団体からの意見があり、この協議会の場では決めかねるという結論に至りました。また、旧庁舎は建物の耐震性が不足しているため、早急の取り壊しを行うことと、新庁舎建設に係る市側の検討も早急に進めてもらうことを、地域協議会の検討結果として、市長あてに要望することが確認されました。

◆地域公共交通の維持・活性化について

市内の公共交通について、高遠町地区では高遠線、藤沢・茅野線、三義・長谷循環バス、高遠循環タクシーの路線が現在運行されていますが、どの路線も利用者が年々減少しています。

伊那市ではAI(人工知能)による自動配車システムを導入した「ドアツードア乗合タクシー」の運行を目指し、調査や実証実験を行っています。便利なシステムではありますが、本格的な導入については課題があり、今ある公共交通を維持していくことが必要です。



市全体では、路線ごとに路線を守り育てる会」が設立されており、地域にとって最適な公共交通のあり方や利用促進策を検討・実施しており、高遠地区では、平成28年に三義・長谷循環バス、平成29年に藤沢線で 路線を守り育てる会」が発足しています。高遠循環タクシーについて、今年度会の発足をしたいこと、該当する地区の区長を中心に、設立に向けた人選を進めていきたいことの説明が市担当者からありました。



路線を守り育てる会」の発足については、発足の目的や現在の状況を、該当地区の区長へ丁寧に説明するよう意見が出されました。

高遠循環タクシー停留所の表示を更新しました！

設置されてから年数が経過しており、劣化により表示が見づらくなっていた停留所の表示が更新されました。

(掲載は一部のもです)

また、先月の市報発送時に、公共交通についてのチラシをお配りしました。住民の皆さんが利用することで路線の維持につながります。積極的にご利用ください。



新地域協議会委員の紹介

高遠町地域協議会の任期は2年間ですが、年度途中で交代となった委員を紹介します。

17番委員：山岸加代子委員

選出団体：高遠町民生児童委員協議会

任 期：令和元年12月～令和2年3月

よろしくお願いいたします。

高遠町地域協議会では、20名の委員の皆さんが、地域の身近な課題や問題を真剣に論議し、各選出団体の代表として活動しています。地域協議会への意見や希望等がありましたら、協議会委員または高遠町総合支所総務課までご連絡ください。

■編集発行 高遠町地域協議会事務局

(伊那市高遠町総合支所総務課内)

■電 話 94-2551

■FAX 94-3697

■Eメール t-sou@inacity.jp